

あるこ!

九州自然歩道の旅 ②

福島 優

前回(5月20日付)は、全長約3千キロの「九州自然歩道」で、福岡県添田町の高住神社から福岡、大分県境の犬ヶ岳(1131㍎)のツクシシヤクナゲ(自生地までご紹介しました。今回は、犬ヶ岳の笈吊岩から経読岳へと歩を進めます。

犬ヶ岳を登山する際の最大の難関とされる笈吊岩は高さ20㍎ほどの切り立った岩場になっており、「滑落注意」という看板も大きく出ています。迂回路もありますので、まだ山に慣れていない方はそちらを歩きましょう。

笈吊岩を慎重に下りて無事に越えたらまず一安心。ほどなくして笈吊峠へと到着します。ここから下ると犬ヶ岳登山口(福

笈吊岩—経読岳



岡県豊前市)へとつながっています。登山口には駐車場やトイレもあるので、日帰りで犬ヶ岳を登られる方が多くいらっしゃいます。

実はここも九州自然歩道の支

して犬ヶ岳に登られてみて下さい。危ない箇所もありますが、自然豊かな所で、帰りは温泉施設もある良い所です。

自然歩道の本線は、笈吊峠から経読岳、雁股山(807㍎)へ続いています。こちらもまた登山初心者にはあまりお勧めできない道。歩く人が少ないため、道が分かりづらいのです。

と経読岳の西峰に到着です。

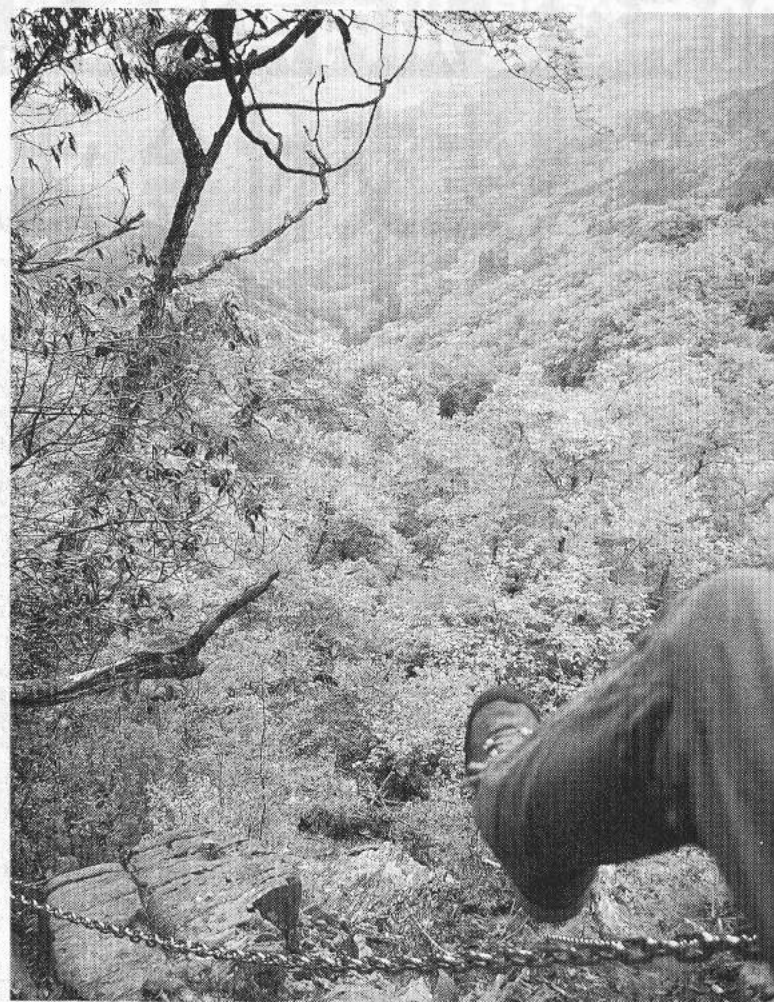
こちらは修験の道としての山頂、ここから東へ少し行ったらここに東峰があり、こちらは三角点の山頂(992㍎)。地図には表記されていませんが、経読岳は、西と東にそれぞれ山頂があるので、迷わないように注

切り立った岩場を踏破

線。支線はそのまま下山し、求菩提キャンプ場などを通りすぎ、ト仙の郷の温泉手前から求菩提山(782㍎)を登ります。さらに求菩提山の裏の道を歩いていくと前回紹介しました笹ノ宿(1124㍎)に出ます。また、犬ヶ岳登山口から恐ヶ淵コースという一回り短いルートもありますので、2、3度といら

見ながら間違えないように進む

意してくださいね。中・上級のコースなので、気軽に行けません。来訪者が少ない分、緑を楽しむことができる犬ヶ岳から経読岳までの約3千、2時間の歩き旅でした。来月は、雁股山へと向かいます。(九州自然歩道フォーラム会員 福岡市) 毎月第3水曜掲載



①切り立った笈吊岩。下りるには初めの一步が一番勇気がいらしますね②鎖をしっかり持ってゆっくりと下りていきます

